

武夫原

第33号

新たな時代へ改革を

本年度より武夫原会会長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

まず何よりも、10年の長きにわたり様々な改革に取り組み、着実な成果を積んで来られた村田信一前会長に敬意と感謝をお示ししたいと思います。

熊本では、地震と豪雨災害からの復興半ばではありますが、TSMCの操業開始など新しい動きが始まっています。熊本大学でも、開学以来初となる学部相当の新部局設置などの新たな動きがあります。

武夫原会はコロナ禍後初の大同窓会を開催し、地域武夫原会でも活発な活動を再開しております。一方で、財政状況の悪化、若手の同窓会離れなどの解決すべき課題も山積しています。

課題解決のためには、若手の意見と感覚を積極的に採

武夫原会 会長 深町 公信 (S57法文・法卒)

り入れ、将来を見据えた新たな同窓会文化を築き上げていくことが必要であると思われます。その一環として、これまで「国際交流支援事業」として行ってきました現役学生に対する支援を、「チャレンジ支援事業」として対象事業を広げました。

また、今号では、熊本大学新聞社(新聞部)の諸君に、現役学生の視点での紙面レイアウトと下の記事「熊本大学新聞の紙面で振り返る2024年」を依頼いたしました。

今後も新たな時代に対応すべく改革を続けていく所存ですので、ご理解とご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



熊本大学新聞の紙面で振り返る2024年

今年は熊本大学が目まぐるしく変化する年となりました。「熊本大学新聞」の紙面から2024年の熊大を振り返り、OBOGの皆様にお伝えしたいと思います。

組織面では学部相当組織「情報融合学環」が始動。来年度から大学院「半導体・情報数理専攻」も新設され、文理融合の「共創学環」設立の計画も公表されました。

文学部では再来年度より4つの学科を「人文社会学科」に統合することになり、進路の柔軟化やミスマッチ防止が期待されます。

また、新たに始まった「ネーミングライツ」事業では、法文学部棟の契約締結(12月)のほか、全学への広がりを見せてています。サークル活動もコロナ禍から完全に復活し、OBOGを巻き込んだ「Giving Campaign」など、活動の幅を広げた一年となりました。

(文責・熊本大学新聞社)

6年ぶりに大同窓会開催



2024（令和6）年11月4日、熊本大学黒髪キャンパスで「熊本大学武夫原会大同窓会」が行われました。平成30年以来6年ぶりの開催となります。

記念講演会や記念式典が行われた後はホームカミングデーに合流し、小川学長による近況報告、交流会に参加しました（詳細は武夫原会ホームページをご覧ください）。

名簿システム連絡先更新、メールアドレス登録のお願い

武夫原会では「武夫原会Web名簿システム」を介して、会員の皆様にイベント案内等いろいろなお知らせを発信していきます。

今後会報はメールでの配信に移行していくので、連絡先の更新、個人用のEメールアドレスの登録を是非ともお願ひいたします。

<https://www.web-dousoukai.com/bufugen/weblis/>

登録は、下記QRコードからログインして行って下さい。会員コード（ID）とパスワードは会報送付時の宛名用紙に印字されています。

登録いただいた情報は、熊本大学とも共有し、熊本大学の最新情報を届けるメールマガジンなどの配信にも活用されます。

なお、会員の個人情報は、セキュリティ万全のサーバーで一元管理しますのでご安心ください。



1年間の活動報告

文学部

文学部長 伊藤 正彦 (歴史学)



令和8年（2026）4月の「共創学環」（文理融合の学部相当組織。学生定員80名）の創設とあわせて、熊本大学文学部は従来の4学科制を改めて「人文科学科」（学生定員160名）の1学科制とします。卒業生の皆さんには、1学科制になると従来の4学科制のもとでの学問が学べなくなるのではないかと心配されるかもしれません、そうしたことではありません。文学部からなくなるのは、コミュニケーション情報学科のコミュニケーション情報学コースのみです。コミュニケーション情報学コースの教育内

容は「共創学環」の「グローバルイノベーションコース」に発展的に継承されます。

「人文科学科」1学科制のもとでも9コース・21の履修モデルを継続します。熊本大学文学部の大きな特色は、学部の低年次から各学問分野の基礎・希望を学習して確かな専門性を修得することにあり、そうした教育環境を1学科制のもとでも継承・発展させていきます。また、1学科制には、志願時点で所属学科を決めるべく、1年次に文学部を構成する学問分野の科目を広く学んだうえで希望のコース・履修モデルを選択できること、従来は不可能であった複数の教科の教職免許を取得することができるといったメリットもあります。ひきつづき卒業生の皆さんのご理解とご支援をお願いいたします。

法学部

法学部長 大日方 信春 (憲法学)



2024年度、法学部は入学定員をこれまでの210名から200名に変更しました。同年度から本学に情報融合学環が設置されたためです。法学部は授業提供においてもこの学環の設置に協力しています。

法学部の活動としては、エルペルクにおいて、シンポジウム「災害時の民事法上の課題についてー被災者支援の在り方を中心にー」を6月に開催いたしました。これは2016（平成28）年の熊本地震を受け、法学部で災害からの復旧・復興のあり方を社会科学的視点から分析・発信してきたことの成果です。ま

た、11月にはシンポジウム「TSMCと半導体は熊本・日本を救うか？—産業論と地域経済の視点からー」を開催しました。これは、TSMC誘致に伴って熊本（大学）がなさねばならない課題や日本の産業政策のあり方などに関する社会科学的論点を整理・提示する試みとなりました。

学生の進路に関しては、本年も多数の者が法曹養成連携協定（法曹コース）を利用して司法試験に合格しています。公務員採用も堅調で、とくに政令市への入庁が増えています。民間就職においてはすでに3年生の段階で早期内定を得ているものも多数出ております。

大学院

社会文化科学教育部長 鹿嶋 洋 (地理学)



2024年度は東京武夫原会の総会やホームカミングデーで武夫原会の皆様にお目にかかる機会を頂き誠にありがとうございました。卒業生・修了生の皆様が各方面でご活躍なさる姿は在学生や教職員の大きな励みになっています。

さて、社文教において研究不正があったことが先日発表され、卒業生・修了生の皆様にはご心配・ご迷惑をお掛けしていることと存じます。謹んでお詫び申し上げます。社文教の元大学院生が執筆した学術論文に盗用が認められ、当該論文が取り下げになったという

というものです。社文教では研究倫理教育を再度徹底するなどの再発防止策を講じ、信頼回復に努めて参ります。

2024年度は博士前期課程現代社会人間学専攻に「公認心理師専門職コース」を設置し、多くの入学生を得て順調にスタートしました。また2025年度からは博士後期課程文化学専攻に「現代文化資源学領域」を設置します。社文教ではこれからも時代の要請に応じて、研究者や高度専門職業人を養成するための教育体制の充実を図っていきます。卒業生の皆様の学び直しやリスキリングのため、大学院進学を考えてみてはいかがでしょうか。

卒業生表彰式

2024（令和6）年11月4日熊本大学本部棟大会議室で、令和6年度熊本大学卒業生表彰式が開催されました。熊本大学の卒業生で、本学の名声を高めた方や本学の発展に尽力された方の功績を称えるものとして平成24年に創設されたものです。

今年は11名の方が表彰を受け、小川久雄学長から表彰を受けたあと、記念撮影が行われました。武夫原会からは、神崎芳郎様（S40.3 法文・法卒）が受賞されました。誠におめでとうございました。



寄附講義

2024年度も多彩な講師陣に「法学部生のキャリアデザイン」の講義をお願いしました。

2024年度寄附講義一覧

講義日	講師氏名	講師所属先
10月 9日	松尾 彰文	肥銀キャピタル株式会社創業支援グループグループ長
10月16日	浅野 綾子	株式会社事業承継支援コンサルティング本部マネージャー
11月13日	中村 陽 河野 由香	熊本県信用保証協会
11月20日	嶋村 洋美	株式会社K S エナジー未来投資グループグループ長
12月18日	河津 奈那	株式会社鶴屋百貨店人事部教育グループ
1月29日	二口 りさ子	NTT西日本アセットプランニング株式会社



武夫原会チャレンジ支援事業がスタート

国際的な自己研鑽や社会的貢献など、学生の意欲的な取り組みを経済的に支援する武夫原会チャレンジ支援事業がスタートしました。2024年度は、3事業（シンガポール・ベトナムでの調査1件、アメリカ東海岸でのインターンシップ参加2件、各30万円）を支援しました。



チャレンジ支援事業で支援した学生の様子

武夫原教育・研究支援基金

昨年度から、文学部・法学部・社文教の学生の教育・研究を引き続き支援するため、「武夫原教育・研究支援基金」について、重点的に支援を募ることといたしました。この結果、77名の方から総額 1,108,000円の寄附をいただきしております、ほとんどが武夫原会会員からの寄附です。

ご寄附いただいた方のお名前（敬称略）

古閑 孝之	永井 陳雄	下田 恵美子	中島 礼一	矢野 登久男	吉澤 博	北山 洋一	島上 英治
宮崎 敬一	菅坡 誠夫	鬼塚 獅子	渡辺 清吉	柴山 佳夫	柏尾 俊明	松田 亨	宮本 敦浩
松山 鎌志	木村 純久	本島 昭男	古賀 久恵	平 博子	田中 賢一郎	野口 健一郎・恭子	坂本 富士生
中村 利男	安永 澄男	矢原 幸治	児倉 静二	高宗 俊雄	松井 清二	楠田 靖紀	正永 順証
宮本 恒子	神崎 芳郎	草野 龍二	福田 俊幸	矢野 恵美子	岡本 哲夫	谷 正之	

これもひとえに武夫原会会員の皆さまのご尽力によるものだと大変感謝しております。引き続き、同封の納付書により、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※前号に掲載分以降にご寄附いただいた方のお名前を掲載しています。

※本学の広報誌等にお名前の掲載を希望された方のみ掲載しています。

※この他、お名前の掲載を希望されなかった35名の方からもご寄附いただきました。

地域武夫原会インフォメーション

(詳細は武夫原会ホームページをご覧ください)

地域交流会	2024年の主な活動報告	2025年の活動予定	連絡先
東京 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 10月20日 総会及び懇親会 歴史探訪 5月永青文庫、12月高輪泉岳寺 役員会及び幹事会 年9回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 総会及び懇親会10月18日(土)(11時～14時半、於東京ガーデンパレス) 歴史探訪 春と秋2回開催予定(東京武夫原会のHPで別途案内) 役員会及び幹事会 年10回程度開催予定 	事務局長 曽根田満 電話 080-3388-8996 E-mail sonedamitsuru@gmail.com
名古屋 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 9月6日名古屋市内で幹事の一部4人が懇談。コロナ禍以来4年ぶりの会合。旧交を温めるとともに、今後の活動について話し合ったが、会員名簿の調整を進めていくことに課題を残す 	5年ぶりの懇親会開催に向けて幹事会で検討	事務局長 山田 法夫 電話 0567-25-0766 E-mail : nyamada@clovernet.ne.jp
関西 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 9月7日シティプラザ大阪で総会・懇親会 ハイキング 年2回 ゴルフ会 年1回（雨天中止2回あり） 常任幹事会 年11回（4月、5月、6月、7月、8月、10月、11月、12月、1月、2月、3月） 	<ul style="list-style-type: none"> 総会・懇親会 9月6日（土）シティプラザ大阪 ハイキング 年2回 ゴルフ会 年3回 常任幹事会 年11回（4月、5月、6月、7月、8月、10月、11月、12月、1月、2月、3月） 	事務局長 松田 亨 電話 090-3825-8513 E-mail : fwik6923@nifty.com
福岡 武夫原会	次回の支部同窓会開催へ向け幹事会を開催	秋に支部同窓会開催の予定	事務局担当理事 鳥取 正義 電話 090-9606-9906 FAX 092-707-4137 E-mail : qquc4ab9k@abeam.ocn.ne.jp
熊本 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 5月13日 職域幹事会（大同窓会実行委員会立ち上げ及び実施内容検討） 9月18日 職域幹事会（大同窓会実行委員会）大同窓会準備状況確認 10月17日 職域幹事会（大同窓会実行委員会）大同窓会最終準備確認 11月4日 熊本大学武夫原会大同窓会開催（熊本大学ホームカミングデーへの参加による交流） 	<ul style="list-style-type: none"> 職域幹事会の開催 会員名簿登録者拡大等 現役学生との交流検討 熊本大学ホームカミングデーに併せて交流会を開催 	事務局長 福本哲也 電話 080-1788-9715 E-mail : aity.f8157@gmail.com
宮崎 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 8月31日役員会及び懇親会を開催（出席者7名） 今年は特段の案件もないことから、本会議のみとすることを決定 	<ul style="list-style-type: none"> 役員会を開催し、新役員選出及び総会日程を決定する 総会及び懇親会を開催する（日程は未決定） 	事務局担当理事 永徳 明 電話 FAX 0985-47-9822 E-mail : kira-kira-8man@cma.bbiq.jp
鹿児島 武夫原会	<ul style="list-style-type: none"> 10月12日定期総会及び懇親会（於：ホテルタイセイアネックス） 幹事会（1回） 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島武夫原会定期総会及び幹事会日時等は未定 ※定期総会等に係る連絡は、LINE オープンチャットで行いますので、ぜひご登録を！ 	幹事長 中 豊司 メールアドレス mhrym186@yahoo.co.jp ※連絡する際は下記の者もccに入れています。 会員 木場 瑛吾 E-mail : koba.eigo0920@gmail.com

『武夫原』第33号（題字：永畠恭典氏）

令和7年3月21日発行

印刷：プリンティングサービス

発行：熊本大学武夫原会事務局 編集協力：熊本大学新聞社

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目40番1号熊本大学文・法文学部内

電話/FAX 096(342)2459 E-mail : bufugen@gpo.kumamoto-u.ac.jp

ホームページアドレス : http://www.web-dousoukai.com/bufugen